

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 02 月 14 日作成)

小委員会名	スピーチプライバシーの評価と設計指針 - 音声 情報漏洩防止 - 刊行小委員会		主 査 名：清水 寧 就任年月：2019 年 04 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)		委員長名：持田 灯 主 査 名：岩田 利枝
設 置 期 間	2019 年 04 月 ～ 2021 年 03 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・ 2019 年度 DS の完成、シンポジウムの開催 ・ 2020 年度 FDS の完成後、査読、パブリックコメント ES の完成、講習会を開催		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：特になし		
	主査：清水寧 (S/F Design Lab.) 幹事：李孝珍 (東京大学) 委員：上野佳奈子 (明治大学)、佐藤逸人 (神戸大学)、司馬義英 (日建設計)、羽入敏樹 (日本大学)、星野康 (日本環境アメニティ)、山川高史 (ヤマハ)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2019 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 日本建築学会環境基準『スピーチプライバシーの評価規準と設計指針 - 音声 情報漏洩防止 - 』策定に向けて 参加者数 45 名 (資料名) 同上資料
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. シンポジウムでのアンケート収集
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. AIJES の策定に必要な流れと計画通りのスケジュールで進めることができた 2. シンポジウムの開催も予定通り行い、約 50 名の参加者の約半数からコメン トをもらうことができた。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 原稿作成においては、議論よりも共同で行う実作業が多くなり、内部査読な どに時間がかかった。

2019 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	厳しいスケジュールであったが、AIJES 作成の流れに沿って、予定した計画通りに作業を進めることができた。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。